

脊椎関節炎診療 Q&A 集の作成に関する研究

研究分担者 田村直人（順天堂大学医学部 膠原病内科学）

研究要旨

脊椎関節炎（spondyloarthritis: SpA）の概念、診断および治療は近年大きく変化している。本研究班では、日本脊椎関節炎学会と共同で、リウマチ専門医、整形外科医、一般内科医、研修医等を対象とした診療ガイド「脊椎関節炎診療の手引き 2020」を本年 7 月に発行した。今年度はこれを補完するため、脊椎関節炎患者、その診療に携わる医師およびコメディカルの疑問を Q&A 集として取りまとめ、脊椎関節炎診療に関する最新で正しい知識の普及や診療の標準化をさらに推進する。質問は患者会、日本脊椎関節炎学会ホームページ、研究班員施設から収集し、編集委員会にて決定した。現在は患者を対象とした Q&A 集について質問を確定し、全体の構成を行った。回答内容を作成し内容を確認中であり、年度内の発行を予定している。

A. 研究目的

脊椎関節炎の治療においては、TNF 阻害薬、IL-17 阻害薬などの有効性の高い治療薬が登場し、疾患の進行を抑制して身体機能や患者 QOL を維持するため、早期診断、早期治療介入が望まれるようになった。Assessment of SpondyloArthritis international Society (ASAS) は、脊椎関節炎を体軸性および末梢性に分類し、それぞれの分類基準を提唱しており、それにより X 線基準を満たさない脊椎関節炎が新たに分類されるようになるなど、脊椎関節炎診療は近年、大きく変化している。一方、体軸性脊椎関節炎をはじめわが国では脊椎関節炎患者数が少ないことから、脊椎関節炎診療に関する経験は十分ではなく、最新で正しい知識の普及および診療の標準化が必要である。本研究班では、昨年度より日本脊椎関節炎学会と共同で「脊椎関節炎診療の手引き 2020」の作成を進め、関連学会からパブリックコメントを得たのちに、本年 7 月発行にした。今年度はこれをさらに推進するため、患者および医療現場からの疑問を Q&A 集にまとめて、脊椎関節炎の疾患概念や診療について、より理解を深めることを目的とした。

B. 研究方法

編集委員会を設置して、内容や作成方法を検討した。質問の収集方法として、①患者クエスションは日本 AS 友の会、乾癬患者会、編集委員施設の通院患者等で、②医師・コメディカルのクエスションは日本脊椎関節炎学会 Web サイト、編集委員施設でアンケート方式にて収集することとした。質問内容について委員会で検討し、各疾患において適切と思われるものを選択した。患者 Q&A を優先して行うこととした。回答については、各質問の「脊椎関節炎の手引き 2020」の執筆者を中心にを行い、原則として「脊椎関節炎の手引き 2020」の内容に沿って行うこととした。

C. 研究結果

1) 質問の決定

患者クエスションとして 118 問、医師・コメディカルのクエスションとして 180 問を収集した。優先する患者用のクエスションについては編集委員会にて取捨を行って形式を整え、重要と思われる質問は追補した。

2) 全体の構成

全体の構成を表に示す。脊椎関節炎に共通する質問と、各疾患に対する質問により構成される。COVID-19 に関する質問も取り入れた。

項目	Qの数
Part1 脊椎関節炎について知りたい方へ	2
Part2 ご自身の病気について、さらに詳しく知りたい方へ	
体軸性脊椎関節炎(強直性脊椎炎・X線基準を満たさない体軸性脊椎関節炎)	36
乾癬性関節炎または乾癬を伴う脊椎関節炎	25
炎症性腸疾患に伴う脊椎関節炎	8
反応性関節炎	6
分類不能脊椎関節炎	5
若年発症の脊椎関節炎	5
Part3 すべてのみなさまへ～病気の周辺知識～	
妊娠・出産・育児について	2
医療福祉制度について	2
その他	1
合計	92

3) 回答の記載

回答については編集委員会で十分な検討を行っている。

D. 考案

脊椎関節炎はわが国における疾患認知度が低く、病態や臨床経過の知識も十分ではないため、診断の遅れや誤診、過剰診断、過剰治療が起こる可能性があり、患者は満足な治療を受けられない可能性がある。また患者や家族が疾患について学びたいとき、病状や治療について疑問をもったときに正しい知識を得るためのツールは十分とはいえない。今回は患者から収集した質問を中心に、脊椎関節炎の各疾患について偏りのない知識が得られるよう配慮して質問を決定した。回答についても編集委員会内で十分に検討し、患者に理解しやすい表現を心掛けて作成していく。患者のためのQ&Aについては今年度中の発行を予定している。医師・コメディカル用に関しては今後、質問の選択を進めていく予定である。

E. 結論

脊椎関節炎に関する最新の正しい知識普及のため、患者のための脊椎関節炎 Q&A 集を作成する。

F. 研究発表

1. 論文発表

1) 田村直人、林絵利 体軸性脊椎関節炎の病因・病態. 日本臨床 2020;78(8):1277-1283.

2) 米澤 郁穂、佐藤 達哉、田村直人、小林 茂人、井上 久. 治療 強直性脊椎炎の外科治療. 2020;78(8):1378-1384

3) 林絵利、田村直人 TNF 阻害薬抵抗性で X 線基準を満たす体軸性脊椎関節炎に対する ixekizumab の有効性と安全性. リウマチ科 64(1):103-109, 2020

2. 学会発表

1) 田村直人 日本人の強直性脊椎炎患者の臨床的特徴を明らかにするための研究 (JASTIS study). 中間報告. 脊椎関節炎に関する共同研究成果報告会. 日本脊椎関節炎学会第 30 回学術集会、2020 年 9 月 26 日、WEB 開催、京都.

2) 多田久里守、谷口義典、首藤敏秀、土橋浩章、小林茂人、萩森恒平、山路健、田村直人 日本人の強直性脊椎炎患者の臨床的特徴を明らかにするための研究 (JASTIS study). 日本脊椎関節炎学会第 30 回学術集会、2020 年 9 月 26 日、WEB 開催、京都.

3) 多田久里守、門野夕峰、辻 成桂、林 絵利、田村直人 仙腸関節単純レントゲンの読影に関する考察. 日本脊椎関節炎学会第 30 回学術集会、2020 年 9 月 26 日、WEB 開催、京都.

4) 田村直人 AS 診療の手引き. シンポジウム 13. 脊椎関節炎診療、第 64 回日本リウマチ学会総会・学術集会、2020 年 8 月 17 日～9 月 15 日、Web 開催.

別添 4

G. 知的財産権の出願・登録状況
(予定を含む)

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし